



ジヨホール日本人学校 学校だより

みんなの学び舎

令和6年9月2日

第10号

「始業式 校長あいさつ」

令和6(2024)年度 2学期 始業式 校長あいさつ

1学期の終わりに「求めて学ぶ夏休み」という言葉を掲げました。「きっかけはிரらない」「行動が自分を変える」そんな話もしました。そして、「のんびりするのも夏休み」これも話しましたね。私の話…これらのうち一つでも覚えている人?…ああ、いますね。嬉しいなあ。ありがとう。32日間の休みを終えて今、みなさんはどんな気持ちでしょう。「思ったよりもがんばれたなあ」という人…とても素晴らしいです。その充実感をバネにして、次の目標に向け、さらなる成長をめざしてください。「思うようにならなかったなあ」という人もいることでしょう。その人は気持ちを切り替えてまた今日から新たなチャレンジをしてくださいね。それができる学校こそ「みんなの学び舎 J S J」です。

さて、みなさんこの人を知っていますか。この人は、世界有数の自動車メーカー「ホンダ」をつくった本田宗一郎さんです。彼がこんなことを言っています。「子どものころ、生きているメダカを飲み込めば泳げるようになる」と教えてくれた人がいた。それを信じた私は、『泳げるようになりたい一心』で、小川に入ってメダカをすくっては飲み、飲んでですくって、手足をバタバタさせてみた。でも、いっこうに泳げるようにはならない。そこで、『メダカでは小さすぎて力不足なのかも?』と思って、今度はザルを使って大きな魚をすくって飲み込んでみた。胃の中で、ゴソゴソ動く魚を感じながら、手足をバタバタさせたら、少し泳げるようになった。そこで、また魚を飲み込んで、手足をバタバタさせた。これを繰り返すうちにいつのまにか泳げるようになった。」という話です。

本田さんが泳げるようになったのは、もちろん飲み込んだ魚のせいではなくて、毎日一生懸命練習したからです。まねをして魚を飲み込まないでくださいね。そして、一生懸命練習できたのは「泳げるようになりたい」という気持ちを持ち続けたからだだと思います。そう、とても強い「意志の力」がそこにあったのです。来週から水泳が始まりますが、泳げるようになった時の感動・喜びはとても大きいものです。本田宗一郎さんの話は、物事ができるようになる源は、「意志の力」であり、「なりたいた自分をもてるかどうか」だと教えてくれます。「漢字が得意になりたい」「英語が話せるようになりたい」「友達となかよくしたい」「絵が上手になりたい」「バドミントンが上達したい」「どんなことにも積極的にになりたい」…「なりたいた自分」を思い描ける人は「本気で取り組むことのできる人」です。「本気で取り組む」みなさんを J S J の先生方は必ず応援します。見守り、励まし、時々少しお手伝いします。

「なりたいた自分」をなかなかみつけられない人もいることでしょう。その人は、自分の周りをよく観察してみてください。そして、耳をすませてください。テレビやネットから知ること。友達・先生・家族の話。そして、本や自然の中など…いろいろなところにヒントはあります。「それってなんだろう、へーおもしろそう」という出会いが必ずあります。どうか、そうした出会いを大切にしてください。その出会いが「なりたいた自分」を探すヒントになると私は思います。

もう一度いいます。「『なりたいた自分』をみつけよう!」、「本気で取り組む2学期にしよう!」…充実した時をすくすためにも、ぜひこの言葉を頭の中に入れて、強い意志と自信をもって、いろいろなことにチャレンジしていきましょう。

校長 北村健治